

瀬戸内海研究フォーラム in 奈良

瀬戸内海における地域資源の再評価と再編 —豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海—

趣 旨

瀬戸内海は、瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年、瀬戸内海国立公園指定80周年を経て、今、歴史的に大きな転機に立っている。環境保全においては地域特性を重視した新たな段階に進む局面にあり、風景等の地域資源においても新たな掘り起こしがはじまっている。瀬戸内海は瀕死の海を脱したものの、生物多様性と生物生産性の豊かさの回復が課題であり、瀬戸内海全体の管理から地域性・季節性に合ったきめ細かい管理へと再編されようとしている。風景の見方も内海多島海景観の俯瞰から、島嶼内部の生業景観の巡り歩きへと変化し、文化的景観、産業景観等の評価とともに、風景が再編されようとしている。

瀬戸内海は世界から注目されつづける不思議な場所である。19世紀に欧米人にいち早く絶賛されて以来、21世紀の現在、海と人の共生するSATOUMIとして世界から評価されはじめ、直島のアートや瀬戸内国際芸術祭が世界から注目されている。瀬戸内海の再評価と再編がおきている。

本フォーラムは、奈良特有の地域資源の生成を環境と文化の関係から紹介しつつ、海域、風景等の地域資源の再評価と再編の観点から、豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海を浮きぼりにしたい。



竜田川・竜田公園



佐保川



飛鳥川

日 時 平成27年 9月3日(木) 13:00~18:40
9月4日(金) 9:30~15:30

会 場 奈良県文化会館 (小ホール・展示室C)

奈良市登大路町6-2 TEL: 0742-23-8921

懇親会: 奈良県文化会館 集会室A・B

参加料 無 料 (定員: 200名)

※資料代 1部1,000円、懇親会費4,000円

お申込・お問合せ先

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館5階

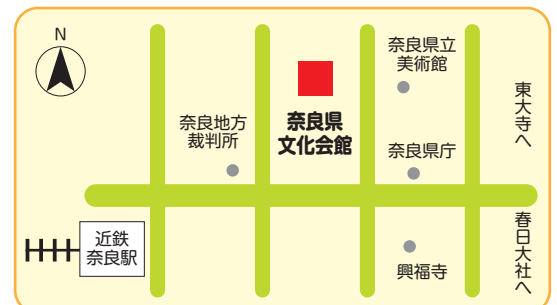
(公社)瀬戸内海環境保全協会

TEL: 078-241-7720 FAX: 078-241-7730

http://www.seto.or.jp/kenkyu/

E-mail: web@seto.or.jp

会場案内図



アクセス

近鉄奈良駅①番出口を出て東へ徒歩5分
奈良交通バス県庁前西へ2分

主催: 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議
協賛: (公社)瀬戸内海環境保全協会

共催: 瀬戸内海環境保全知事・市長会議

後援: 環境省、奈良県、奈良市、奈良県立大学、関西学院大学

詳しくは裏面をご覧ください。

9月3日(木) 13:00~18:40

9月4日(金) 9:30~15:30

開会 13:00~13:25

趣旨説明

運営委員長：西田 正憲
(奈良県立大学地域創造学部 教授)

第1セッション 13:30~15:30

○掘り起こされる瀬戸内海の多様な地域資源

コーディネーター：佐山 浩
(関西学院大学総合政策学部 教授)

- ☆世界につながる瀬戸内海の宝『衆鱗図』
滝川 祐子 (香川大学農学部 技術補佐員)
- ☆奈良「山辺の道」の発見と風景の再編
山口 敬太 (京都大学大学院工学研究科 助教)
- ☆瀬戸内海の近代国防遺産
唐澤 靖彦 (立命館大学文学部 教授)
- ☆奈良県の景観資産登録制度
梶岡 優光 (奈良県くらし創造部景観・環境局景観・自然環境課 課長補佐)

第2セッション 15:45~17:50

○環境保全・創造に関する研究・活動報告

ポスター発表 (ハイブリッド方式)
コーディネーター：藤井 智康
(奈良教育大学教育学部 准教授)

- ・展示期間：2日間
9月3日(木) 12:00~18:40
9月4日(金) 9:30~15:30
- ・展示場所：奈良県文化会館 展示室C

瀬戸内海研究会議総会 18:00~18:40

懇親会 19:00~20:30

- *会場：奈良県文化会館 集会室A・B
- *参加料：4,000円

第3セッション 9:30~11:30

○大和川的环境と文化

ー多様な文化を生み出してきた水系

コーディネーター：井原 縁
(奈良県立大学地域創造学部 准教授)

- ☆大和川と「史跡」ー唐古・鍵遺跡と大和川・寺川ー
藤田 三郎 (田原本町教育委員会文化財保存課 課長)
- ☆大和川と「名勝」ー依水園・奈良公園と吉城川ー
尼崎 博正 (京都造形芸術大学環境デザイン学科 教授/日本庭園・歴史遺産研究センター 所長)
- ☆奈良盆地の歴史的都市・集落と水環境
増井 正哉 (京都大学大学院人間・環境学研究科 教授)

大和川は、笠置山地を源にし、佐保川、竜田川、飛鳥川等の古来より歌によまれた奈良盆地の水を集め、奈良県と大阪府の境にある亀の瀬の溪谷部を経て、大阪平野に入り、石川、西除川等を合わせ、大阪湾に注いでいます。奈良県、大阪府にまたがる1,070km²に及ぶ流域は、歴史的に社会・経済・文化を担う重要な地域でした。

第4セッション 12:30~15:00

○豊かな里海創成期の転機に立つ瀬戸内海

コーディネーター：西田 正憲
(奈良県立大学地域創造学部 教授)

- ☆瀬戸内海における環境政策
根木 桂三 (環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室 室長)
- ☆瀬戸内海的环境の現状と課題
松田 治 (広島大学 名誉教授)
- ☆失われゆく瀬戸内海的生活文化
印南 敏秀 (愛知大学地域政策学部 教授)
- ☆「里海」の明日を考える
岩崎 誠 (中国新聞社 論説副主幹)

総括・ポスター賞表彰式・閉会 15:10~15:30

- ご記入のうえ瀬戸内海研究会議事務局 (FAX: 078-241-7730 / E-mail: web@seto.or.jp) に8月21日(金)までにお申込下さい。(参加証は発行しませんので、お申込みのうえ当日会場にお越し下さい。)

氏名	所属	住所	TEL/FAX	研究会議 会員は○	懇談会に (4,000円)
		〒	TEL: FAX:		参加 / 不参加
		〒	TEL: FAX:		参加 / 不参加
		〒	TEL: FAX:		参加 / 不参加